



平成31年03月12日

平成30年度第2回地域包括ケアシステム関係機関連絡会議
社会医療法人仁寿会 理事長 加藤節司

住民の「どうありたい」を「つながる」で実現する地域包括ケア推進事業 平成30年度事業報告

圏域課題解決推進事業（しまね型医療提供体制構築事業）

仁寿会地域総合ヘルスケアステーションかわもと

- ・**加藤病院**
強化型在宅療養支援病院・島根県地域医療拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院
- ・**医療近接型住まい「穏」**
医療近接型住まい
- ・**介護老人保健施設仁寿苑**
在宅復帰強化型
- ・**在宅療養支援センター**
ケアプランステーションかわもと
訪問看護ステーションかわもと
ホームヘルパーステーションかわもと
グループホームかわもとあいあいの家

仁寿会地域総合ヘルスケアステーションおおだ

- ・**仁寿診療所そじき**
大田市指定管理者
- ・**仁寿診療所ながひさ**
- ・**ナーシング＆リハビリテラス和かち逢う家**
サービス付き高齢者向け住宅
- ・**在宅療養支援センター**
ケアプランステーションながひさ
訪問看護ステーションながひさ
ホームヘルパーステーションながひさ

住民の「どうありたい」「つながる」で実現する地域包括ケア推進事業

事業計画概要

地域医療構想に掲げた課題の解決を行う事業

圏域課題解決型推進事業（提案型）

しまね型医療提供体制構築事業

事業の基本方針

地域医療構想の達成を目標に、既存の資源が機能分担および連携強化を推進することで、質が高く効率的な医療・介護提供体制を確保する。

事業項目

仁寿会の地域包括ケア取り組みイメージから次の「4つの視点」で取組む。

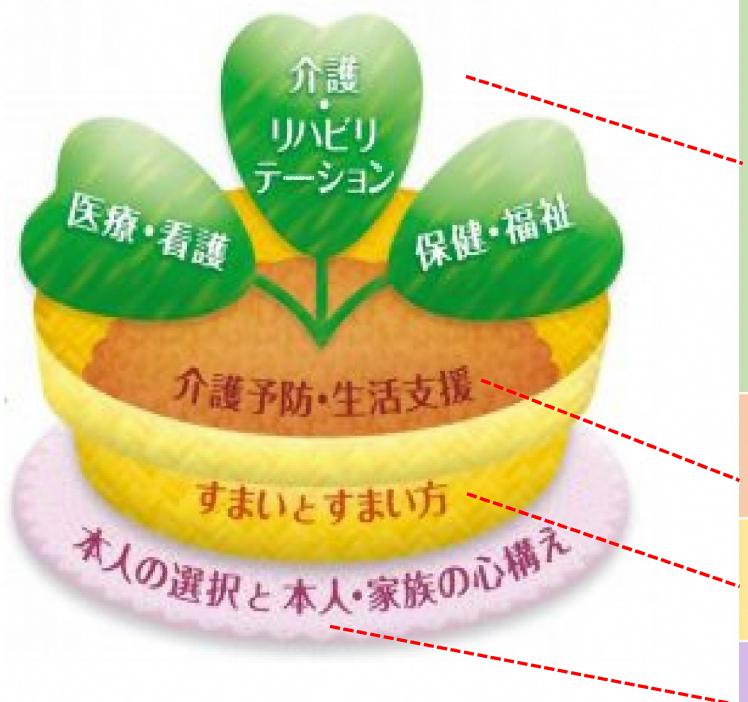
- I . 医療・看護・介護・リハビリ・保健・予防
- II . すまい・すまい方
- III . 生活支援・福祉サービス
- IV . 本人の選択と本人・家族の心構え

仁寿会の地域包括ケア取り組みイメージ～「植木あたま図」
Community based integrated care system



しまね型医療提供体制構築事業（圏域課題解決推進事業） 住民の「どうありたい」を「つながる」で実現する地域包括ケア推進事業 平成30年度事業計画と評価のポイント（事業で期待する効果）

平成30年07月26日
平成30年度第1回大田圏域地域保健医療対策会議
医療・介護連携部会（地域医療構想調整会議）にて承認



- 1.救急から慢性期医療までの確保
 - ① 大田市立病院、石東病院、邑智病院、加藤病院の4病院の連携協定の締結
- 2.在宅医療の充実と支援体制の構築
 - ① 認知症支援体制
 - ・認知症ケアイメージ作成、まめネットを活用した医科歯科連携パイロットモデル構築（大田圏域認知症ネットワーク協議会にてH29提案し課題として承認）
 - ② 緩和ケア支援体制
 - ・おおなん元気サロン、緩和ケアネットワークおおだとの連携継続
 - ・邑智郡内（川本町、美郷町）での住民団体設立支援
 - ③ 地域へのスキルシェア研修（出前講座）の実施
3. I C Tを活用した情報共有と連携
 - ① まめネット事業の活用
 - ・まめねっとTV会議実証実験への参加
 - ・まめネット在宅ケアシステムを活用した医科歯科連携パイロットモデル構築、医科歯科等連携用標準様式の搭載（プロジェクト型）
- 4.食事栄養支援
 - ① 邑智郡食事栄養支援協議会研修会の運営支援
 - ② 嘔下調整食2013にあわせた一覧表の作成と運用
- 5.病院や施設に代わる新たな療養場所の創設
 - ① 地域コミュニティーの活性化
 - ・町づくりに関するミーティングへの参加（川本町・大田市）、ボランティアとの連携（セミプロ育成含む）
- 6.本人の選択と本人・家族の心構え
 - ① アドバンスケアプランニングに関する研修会の開催（在宅看取シンポジウム開催）
 - ・ACP運用に向けた標準様式の作成・運用検討（エンディングノート・医療に関する事前指示書含む）
 - ・司法書士との連携強化（おおなん元気サロン出前講演会・相談会開催）

しまね型医療提供体制構築事業（圏域課題解決推進事業）

住民の「どうありたい」を「つながる」で実現する地域包括ケア推進事業

平成30年度事業成果

医療介護総合確保推進法に基づく島根県計画を最大限に活用し、地域包括ケアシステムの構築を目指す。

●しまね型医療提供体制構築事業

●病床の機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター事業（邑智郡医師会：徳祐会+仁寿会）

“病院完結型医療”から“地域完結型医療介護”へのシフトエンジ

1.救急から慢性期医療までの確保

- ① 大田市立病院、石東病院、邑智病院、加藤病院の4病院の連携協定の締結→10/4締結
- ② 病床の機能分化・連携に向けた調整
→12/26意見交換会（邑智郡医師会：徳祐会・仁寿会、邑智病院）

2.在宅医療の充実と支援体制の構築

- ① 認知症支援体制
 - ・4病院連携協定の活用→2/14連携型認知症疾患医療センター：認知症セミナーにて提案
 - ・加藤病院、仁寿苑での介護ロボット試行・導入※ICT活用兼
→病院：離床センター「シルエット見守りセンター」、老健：コミュニケーションロボット「パルロ」
- ② 緩和ケア支援体制
 - ・おおなん元気サロン、緩和ケアネットワークおおだとの連携
→11/17住民参加型研修会開催
 - おおなん元気サロン毎月参加+出前講座（検査技師、司法書士）実施
 - ・在宅緩和医療介護支援→仁寿会ケアスタートアップマニュアルの作成（在宅療養を支えるイメージを可視化）
 - ・邑智郡内（川本町、美郷町）での住民団体設立支援
→10/5意見交換会（3町）開催し、美郷町：年度内開催への協力
- ③ 地域へのスキルシェア研修の実施
 - まめネットWeb会議システムを活用した研修会開催
 - 地域のプロ（医療介護関連専門職）やセミプロ（住民ボランティア）への出前講座実施
- ④ 訪問看護サービスの利用促進
→11/24住民参加型研修会開催
→平成30年度島根県新卒訪問看護師育成プログラム参加

3. ICTを活用した情報共有と連携

- ① まめネット事業の活用
 - ・まめネットWeb会議実証実験への参加
→遠隔診療支援、多事業所間での合同カンファレンス等実施（20回以上）
 - ・まめネット在宅ケアシステムを活用した医科歯科連携パイロットモデル構築
→複数事業所間での症例で実施（医・歯・訪問・訪りハ）
 - ・しまね情報ネットワーク協会との連携→まめネットカード登録促進
 - ・島根県医療IT専門部会への参加→県慢性期医療協会事務局：Web会議システム審査委員として参加

4.食事栄養支援

- ① 邑智郡食事栄養支援協議会の運営支援
→8/22大田圏域医療介護連携多職種研修会運営支援
→1/27第5回口腔ケアサポーター研修
→2/27名古屋大学葛谷教授講演会開催
- ② 嘔下調整食2013にあわせた一覧表の作成と運用
→情報提供事業所の協力拡大（大田市立病院・石東病院・特養眺峰園）
- ③ 大田市における食事栄養支援体制の構築支援→設立準備委員会委員として支援
- ④ 摂食嚥下障害患者のフォローアップ→摂食嚥下外来や入院検査体制の構築
- ⑤ 研究事業への参加→食事栄養支援と認知症予防

5.病院や施設に代わる新たな療養場所の創設

- ① 地域コミュニティーの活性化
→川本町まちづくりに関するミーティングへの参加、川本町ボランティアとの連携協定（穂）締結予定
→大田市通いの場事業との連携（出前講座など運営支援）長久、福波、池田、志学自治会他
→サ高住の地域への開放（社会化推進）と未来医療人育成のための実習生受入（小、中学生など）

6.本人の選択と本人・家族の心構え

- ① アドバンスケアプランニングに関する研修会の開催
→11/17住民参加型研修会開催
→仁寿会でのACPガイドラインの作成と運用や情報提供
→司法書士、おおなん元気サロンとの連携（邑智郡版オリジナルエンディングノート作成予定）
- ② 在宅緩和医療介護支援→仁寿会ケアスタートアップマニュアルの作成（在宅療養を支えるイメージを可視化）

しまね型医療提供体制構築事業（圏域課題解決推進事業） 住民の「どうありたい」を「つながる」で実現する地域包括ケア推進事業 平成31年度事業計画

医療介護総合確保推進法に基づく島根県計画を最大限に活用し、地域包括ケアシステムの構築を目指す。

●しまね型医療提供体制構築事業

●病床の機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター事業（邑智郡医師会：徳祐会+仁寿会）

“病院完結型医療”から“地域完結型医療介護”へのシフトチェンジ



1.救急から慢性期医療までの確保

- ① 4病院連携協定を活用した取組みの継続（入退院、共同カンファレンス・研修などの連携）
- ② 圏域における病院等機能の共有と可視化（医療連携コーディネーター事業の活用）

2.在宅医療の充実と支援体制の構築

- ① 訪問看護サービスの利用促進（医療連携コーディネーター事業の活用）
- ② 緩和ケア支援体制（邑智郡内での住民サロン拡大）
- ③ 在宅緩和医療介護支援体制の構築（圏域パス）
- ④ 圏域のセミプロ養成体制の構築と未来医療人育成（住民ボランティア、小～高校生を対象）

3.ICTを活用した情報共有と連携

- ① まめネット事業の利用事業者拡大支援（情報連携に付加価値：Web会議の活用）

4.食事栄養支援

- ① 邑智郡食事栄養支援協議会の運営支援（口腔ケアサポーターアップデートなど）
- ② 嘔下調整食2013にあわせた一覧表の作成と運用（収集から活用へ）
- ③ 大田圏域における食事栄養支援体制の構築支援（住民啓発）
- ④ 摂食嚥下障害患者のフォローアップ（島根県後期高齢者歯科口腔健診のフォロー体制）
- ⑤ 研究事業への参加（食事栄養支援と認知症予防）

5.病院や施設に代わる新たな療養場所の創設

- ① 圏域における医療介護関連施設の社会化推進（行政事業や子供から高齢者とのコラボ企画提案）
- ② 大田市「通いの場」、川本町「町づくりミーティング」への参加

6.本人の選択と本人・家族の心構え

- ① アドバンスケアプランニングに関する研修会の開催
- ② 人生会議：意思決定プロセスの場の普及提案（病院内から地域、そして家庭内へ）
- ③ オリジナルエンディングノート作成（法律家慣習による医療・介護・行政とのコラボ）

ご清聴ありがとうございました。

しまね型医療提供体制構築事業
住民の「どうありたい」を「つながる」で実現する
地域包括ケア推進事業

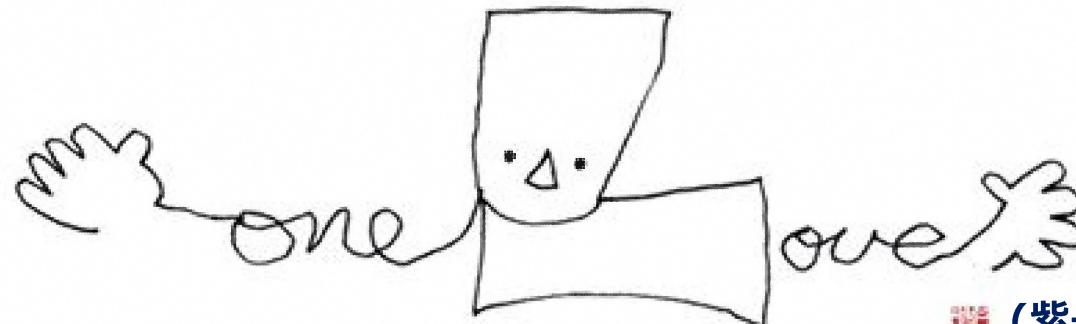
平成30年度第2回地域包括ケアシステム関係機関連絡会議

自分の手の届くキヨリから伝える、one Love

それは、仁、人を思いやる心、仁寿会

成長を支援する、健康を支援する、「つながる」を強化する

仁寿会は、今後も「つながる」で地域包括ケアシステムの構築支援に取組みます。



<http://www.e-sisyu.com/>

 (紫舟書 朝日新聞aspara提供)